

2021年4月1日

会社名：富士製薬工業株式会社
代表者名：代表取締役社長 岩井孝之
(コード番号:4554 東証第一部)

2021年 入社式 社長挨拶

当社は、本日、東京本社と富山工場をオンラインでつないだWeb形式にて、2021年の新入社員11名を迎えて、入社式を開催いたしました。

【代表取締役社長 岩井孝之 挨拶要旨】

新入社員の皆さんへ

入社おめでとうございます。富士製薬工業グループを代表して心より歓迎申し上げます。

本来は皆さん、お一人お一人と直接お会いし祝辞の言葉と心構えをお話ししようと思っておりましたが、コロナウイルスへの感染予防を第一とし今年度は東京と富山をつないだ Web 開催とさせていただきます。

既に皆さんある程度ご存じだとは思いますが、先にこの場を借りて簡単に会社の紹介をいたします。当社の創業はジェネリック医薬品事業であります。現在は新薬の開発・製造販売、製造受託にも事業の幅を広げ、2020年9月決算期で、女性医療関連の売上比率が31%、診断用薬が25%、受託事業が約10%となっています。女性医療領域は新薬の開発も行う当社のコア事業で、昨年12月25日には自社開発で2番目となる新薬、開発コードFSN-011-01「天然型黄体ホルモン製剤」の承認申請を行いました。これは更年期障害治療に伴うホルモン補充療法に用いる黄体ホルモン製剤で、2010年の厚生労働省の主導する「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議」での開発募集に当社が開発の意思を表明し、開発を行った製剤です。また、この分野では今年春から新しい月経困難症治療薬、FSN-013のPhaseⅢ試験を開始の予定です。

また、皆さん聞いたことがあるかもしれませんが、新しい事業領域として「バイオシミラー」製品の開発を進めています。これはアイスランドのAlvotech社と組んで進めている案件です。

現在の連結売上は約350億円ですが、ジェネリック医薬品・新薬双方のパイプラインの充実、バイオシミラーへの取組、更に海外展開を加速させることで、10年後には売上1,000億円規模の企業になれるよう、ベンチャー企業のような気持ちで取り組んでいます。

さてここからが今日の本題ですが、この度皆さん初めて社会人になるわけですが、会社とはどのようなところだと思っておられるでしょうか？もし、会社というところを何かしてくれるところだと思っていたら、今日からその考え方を捨てて貰いたいと思います。会社は皆さんにチャンスと舞台を提供するところ、これから30年40年と長い人生を皆さんが徹底的に楽しみ、そして人として成長する場を提供するところだと思って下さい。その為には先ずは入社してからの3年間で、良い行動習慣をつけることがとても大切です。先に「ベンチャー企業のような気持ちで取り組んでいる」と申し上げましたが、皆さんにお願いしたいことは、与えられた仕事をこなすということではなく、目の前の仕事をどう工夫したらもっとよくできるのか、もっと面白くなるのか、もっと好きになれるのか、

そしてどうすれば仕事を通じて人々の健やかな生活に貢献できるのか、ということを常に考え、自ら事実を調査し行動してもらいたいということです。最初は小さくてもよいのです、実行していくことでその行動は習慣になり意識しなくても出来るようになります。それらを通して小さくてもよいので成功体験を積み重ねることで将来もっと面白い仕事ができるようになります。

皆さんが、仕事を通じて立派な社会人になれるよう私をはじめ当社経営陣も一緒になってその成長の場を提供していきたいと考えています。新しくて面白いことに取り組めるようこれから一緒にやってみましょう。今日は新社会人としての第一日目、これから先人生は長いです、体にだけは気を付けて頑張ってください。

以上

【本件に関するお問い合わせ】

経営企画部 コーポレートコミュニケーション課

TEL : 03-3556-4430 E-mail : fsk_ir@fujipharma.jp